

# ～地域の担い手が連携した再生への取り組み～

## 千葉県富津市

取組主体:株式会社「百姓王」

取組開始時期:平成24年12月

解消面積:4.8ha(平成27年3月時点)

導入作物:加工用米、飼料用米

### 1. 取組のきっかけ・経緯

富津市は、農業者の高齢化等や農家数の減少が進む中、農協等の関係機関と協力して、リタイヤする農業者の農地を担い手集団に任せていくなど、地域の中核となる担い手の育成確保と農地の有効利用に積極的に取り組んでいる。

この中で、若手農業者を中心とした組織(その後、株式会社「百姓王」になる)へ、事業を紹介するなど耕作放棄地解消に取り組んできた。

### 2. 取組内容

百姓王は、農協の青壮年部の構成員を主体に、当初、営農集団として組織され、農協が借り受けた農地を作業受託し、WCS用稲や飼料用米の栽培に取り組んでいた。平成24年度から飼料用米等の拡大に向けて、耕作放棄地解消に取り組んでおり、順調に活動が発展してきたことから、組織を見直し、平成26年5月に株式会社「百姓王」を設立した。現在の生産面積は、平成26年度実績で作業受託45ha、借入5.7ha(うち再生4.8ha)、品目は加工用米、WCS用稲、飼料用米、ブロッコリー等を生産している。

### 3. 今後の課題・予定など

株式会社「百姓王」の活動により、地域の担い手同士が協力して事業に取り組めるようになったことから、今後も高齢化等によりリタイアした農業者の農地の受け皿組織として活躍が見込まれている。

課題としては、構成員が担い手であり、個々の経営もあることから、作業受託が今後さらに増加した場合、作業分担等が問題になる可能性もあり、作業の省力化や地域での支援体制が必要になってくる。

### 4. 活用した補助事業

(国)耕作放棄地再生利用緊急対策交付金

(補助内容:H24～26年度、再生作業、4.8ha、土壌改良(2年目)、施設等補完)

(県)千葉県耕作放棄地再生推進事業(補助内容:H24～26年度 再生作業経費)



再生前



再生後